

ちきゅうけん

シンポジウム

文明の基層

古代文明から持続的な 都市社会を考える

古代の都市のイメージは、自然科学的手法を用いた新たな考古学の発見によって大きく変わりつつある。たとえばインダス文明の諸都市。そこには巨大なモニュメントを志向する文明とは全く異なる組織原理が働いているらしい。あるいはテオティワカン。月のピラミッドでの王墓の発見は、この古代都市がなぜ計画されたのかを明らかにした。

古代都市についてのあらたな知見は、あらたな問いかけをうむ。

人はなぜ寄り集まり都市をつくってきたのだろうか。

そして、我々は歴史的基層のうえに、どのような都市を構築できるのだろうか。

多様な古代の都市像から、あらためて都市の魅力と未来可能性を探りたい。

講演1

インダス文明：ネットワーク都市——中央集権的文明観をくつがえす

長田俊樹 ●総合地球環境学研究所 名誉教授

講演2

テオティワカン：中米最大の計画都市はなぜ生まれ、滅んだか

杉山三郎 ●愛知県立大学／アリゾナ州立大学 教授

コメント

水都ヴェネツィア：交易都市から文化都市へ

陣内秀信 ●法政大学 教授

討論

都市文明の未来可能性

【パネリスト】杉山三郎／長田俊樹／陣内秀信 【コーディネーター】阿部健一 ●総合地球環境学研究所 教授

2014 5/31 (土) 13:00-16:30
千代田区立日比谷図書文化館

東京都千代田区日比谷公園内

主催：総合地球環境学研究所／京都大学学術出版会／活字文化推進会議／大学出版部協会

参加無料
事前申し込み制
(定員200名)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所[地球研]
<http://www.chikyu.ac.jp/>

一般社団法人
京都大学学術出版会
<http://www.kyoto-up.ac.jp>

文明の基層

古代文明から持続的な都市社会を考える

講演1

インダス文明：ネットワーク都市——中央集権的文明観をくつがえす

長田俊樹
(おさだ・としき)

総合地球環境学研究所名誉教授。神戸市生まれ。北海道大学文学部卒。北大探検部員としてインドの少数民族に出会ったのをきっかけに、1984年から6年間インドのランチャー大学に留学し、インド少数民族のムンダ人と生活を共にしながら研究を進め、博士号(Ph.D.)を取得。帰国後はムンダ人の言語や文化に関する研究を続け、2003年から2012年まで総合地球環境学研究所教授。その間、インダス文明に関する研究プロジェクト「インダス・プロジェクト」のリーダーを務めた。専門は言語学。未知なるものにチャレンジしたいの精神で、インド最古の民族といわれるムンダ人とインダス文明の関係を明らかにすべく研究範囲を広げ、今日に至る。

著書は、『新インド学』(角川叢書)、『インダス 南アジア基層世界を探る』、『インダス文明の謎：古代文明神話を見直す』(京都大学学術出版会)など多数。

講演2

テオティワカン：中米最大の計画都市はなぜ生まれ、滅んだか

杉山三郎
(すぎやま・さぶろう)

愛知県立大学大学院特任教授/アリゾナ州立大学人類学学部教授。静岡県生まれ。東京経済大学経済学部卒業。1978年から1987年までメキシコ国立人類学歴史学研究所にて考古学調査に従事。その後アメリカ合衆国マサチューセッツ州ブランダイス大学、アリゾナ州アリゾナ州立大学大学院で研究を重ね、1995年に博士号(人類学)取得。アリゾナ州立大学研究員、ハーバード大学客員教授などを歴任し、1999年より愛知県立大学助教授、教授を経て、現職に至る。

専門は中米のメソアメリカ考古学・人類学。現在、古代計画都市テオティワカンの「月のピラミッド」調査団団長。他にマヤ遺跡やアステカ大神殿など多数の遺跡で現地調査を行っている。

コメント

水都ヴェネツィア：交易都市から文化都市へ

陣内秀信
(じんない・ひでのぶ)

法政大学デザイン工学部教授。福岡県生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学し、ユネスコのローマ・センターで研修。パレルモ大学、トレント大学、ローマ大学にて契約教授を務めた。専門はイタリア建築史・都市史。その業績は国内外で高く評価され、地中海学会賞、イタリア共和国功労勲章(ウフィチャーレ章)、ローマ大学名誉士号など、多数の賞を受けている。

主著は、『東京の空間人類学』(筑摩書房)、『ヴェネツィア——水上の迷宮都市』(講談社)、『都市と人間』(岩波書店)、『シチリア——(南)の再発見』(淡交社)、『地中海世界の都市と住居』(山川出版社)など。

討論

都市の未来可能性

パネリスト 長田俊樹/杉山三郎/陣内秀信

コーディネーター
阿部健一
(あべ・けんいち)

総合地球環境学研究所教授。愛媛県生まれ。京都大学大学院農学研究科博士課程中途退学。東南アジアの熱帯林を中心に人と森林の関係史の研究を続けてきた。その熱帯林世界とはある意味対極にあるがゆえに、「都市」にも興味を持っている。

京都大学東南アジア研究所、国立民族学博物館地域研究企画交流センター、京都大学地域研究統合情報センターを経て現職。FAO世界重要農業遺産運営委員。国連子供環境ポスター・原画コンテスト審査委員。主編著書に『生物多様性 子ども達にどう伝えるか』(昭和堂)、『Good Earths: Regional and Historical Insights into China's Environment』(京都大学学術出版会)など。

【申し込み方法】

事前申し込みが必要です。5月29日(木)必着で、電話、メール、はがきまたはFAXで右記までお申し込みください。その際、

- ・シンポジウム参加希望
- ・氏名
- ・年齢
- ・職業
- ・住所、郵便番号
- ・電話番号
- ・メールアドレス

をお知らせください。聴講券の発行をもって受付完了とさせていただきます。

※この申し込みを通じて得た個人情報は、連絡業務のみに使用いたします。

【お申し込み・お問い合わせ先】

tel: 075-761-6182 fax: 075-761-6190

e-mail: sympo@kyoto-up.or.jp

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町69番地

京都大学吉田南構内

京都大学学術出版会 シンポジウム掛

- 【アクセス】 ● 東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」C3(●C4出口工事中)・B2出口より徒歩約5分
● 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分
● 東京メトロ千代田線・日比谷線「日比谷駅」A14出口より徒歩約7分
● JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

